

講義名	組織心理学			授業形態	
担当教員	有吉 美恵	開講期・曜日・時限	前期 金曜日 1 時限		
		単位数	2	履修開始年次	2 年生

主題と概要

本講義を通じて産業・組織心理学の主要概念について理解し、働く人々のキャリアや生活をより良くする視点を獲得することを目的とする。産業・組織心理学は、人が働く上で経験する心理および行動の構相について心理学的視点から明らかにしようとする学問である。授業においては、産業・組織における人々の心理および行動、キャリアについて受講者自らが考える時間を設ける。

到達目標

本科目の学習目標は次のとおりです。
 産業・組織心理学が扱う、諸領域の基礎的な理論について説明できる。
 組織の中で生じる人の行動や、様々な課題とそれに必要な支援について具体的に理解し、説明できる。
 産業・組織心理学の知見を自分自身の就業・キャリア発展に活かすことができる。

提出課題

1. 各回のミニレポート
2. グループワーク時の相互評価
3. 到達度確認テスト

課題（レポートや小テスト等）に対するフィードバックの方法

ミニレポートについては授業内で理解度の深い記述を紹介しフィードバックします。

評価の基準

1. 各回のミニレポート：2点 x 14回=28点（学習目標の に対応）
2. グループワーク時の相互評価：4点 x 4回=16点（学習目標の に対応）
3. 授業内確認テスト：56点 x 1回=56点（学習目標の に対応）

履修にあたっての注意・助言他

各自配布のレジュメ（ppt）は抜き書きになっています。
 必要な人は、レジュメを授業前にダウンロードもしくは印刷しておいてください。
 生成 AI 利用に関して、条件付きで認める（得た情報等が正しいのが、元の情報源を見つける等必要）
 成績評価に関わる課題・レポートで生成 AI の利用は、自身の考えが大半を占めている場合についてのみ認める

教科書

.使用しない。				
---------	--	--	--	--

参考図書

.基礎から学ぶ産業・組織心理学.	幸田 達郎	勁草書房	2970	978-432625146
.産業・組織心理学を学ぶ 心理職のためのエッセンシャルズ.	金井 篤子	金井 篤子	2640	978-476283074
.よくわかる産業・組織心理学.	山口裕幸・金井篤子	ミネルヴァ書房	2860	978-462304871

その他

授業計画

- 第 1 回 ガイダンス：産業・組織心理学とは何か・産業・組織心理学の歴史と研究領域について概観する
 予習内容：シラバスならびにキャンパスロスに事前に掲示する講義資料を見たらうえて、自分が興味を持った内容をまとめたうえで講義に出席すること（120 分）
 復習内容：講義ノート整理・復習し、授業内容の理解を深めること（120 分）
 第 2 回 採用と就職 採用計画
 予習内容：企業の採用計画について調べる（90 分）
 復習内容：講義ノートを整理・復習し、授業内容の理解を深めること（150 分）
 第 3 回 採用と就職 職業活動予習内容
 予習内容：企業の職業活動について調べる（90 分）
 復習内容：講義ノートを整理・復習し、授業内容の理解を深めること（150 分）
 第 4 回 モチベーション モチベーションとは何か、内容理論
 予習内容：モチベーションの内容理論について調べる（90 分）
 復習内容：講義ノートを整理・復習し、授業内容の理解を深めること（150 分）
 第 5 回 モチベーション 過程理論
 予習内容：モチベーションの過程理論について調べる（90 分）
 復習内容：講義ノートを整理・復習し、授業内容の理解を深めること（150 分）
 第 6 回 リーダーシップ リーダーシップの特性論
 予習内容：リーダーシップの特性論について調べる（90 分）
 復習内容：講義ノートを整理・復習し、授業内容の理解を深めること（150 分）
 第 7 回 リーダーシップ 行動論
 予習内容：リーダーシップの行動論について調べる（90 分）
 復習内容：講義ノートを整理・復習し、授業内容の理解を深めること（150 分）
 第 8 回 リーダーシップ 現代のリーダーシップ論
 予習内容：現代のリーダーシップ論について調べる（90 分）
 復習内容：講義ノートを整理・復習し、授業内容の理解を深めること（150 分）
 第 9 回 集団のダイナミクス 組織と個人の相互作用
 予習内容：組織と個人の相互作用について調べる（90 分）
 復習内容：講義ノートを整理・復習し、授業内容の理解を深めること（150 分）
 第 10 回 集団のダイナミクス 組織におけるチームワーク
 予習内容：組織におけるチームワークについて調べる（90 分）
 復習内容：講義ノートを整理・復習し、授業内容の理解を深めること（150 分）
 第 11 回 企業活動と消費者
 予習内容：企業活動と消費者について調べる（90 分）
 復習内容：講義ノートを整理・復習し、授業内容の理解を深めること（150 分）
 第 12 回 ストレス ストレスとは何か、職業性ストレス
 予習内容：職業性ストレスについて調べる（90 分）
 復習内容：講義ノートを整理・復習し、授業内容の理解を深めること（150 分）
 第 13 回 ストレス スンタヘルズとストレスコーピング
 予習内容：ストレスコーピングについて調べる（90 分）
 復習内容：講義ノートを整理・復習し、授業内容の理解を深めること（150 分）
 第 14 回 キャリアとキャリア発達
 予習内容：キャリアとキャリア発達について調べる（90 分）
 復習内容：講義ノートを整理・復習し、授業内容の理解を深めること（150 分）
 第 15 回 授業全体の振り返り
 これまでの授業内容を振り返る（240 分）

授業形態（アクティブ・ラーニング）

ア：PBL（課題解決型学習）	イ：反転授業（知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態）
ウ：ディスカッション、ディベート	○ エ：グループワーク
オ：プレゼンテーション	カ：実習、フィールドワーク
キ：その他（A-L 型であるけども、以上の項目のいずれにも該当しない場合）	

卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連

本科目の学習目標はDPの（1）逆境でもたくましくいく強く（2）論理的思考力（5）仲間と協同（4）自主・自律の精神、の学修に関連しています。

双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述

実務経験の有無及び活用

実務経験あり：企業での人事対応経験をふまえ職場における具体例を交えた授業を行います。

備考